屋根造形 Team ASAHI 大屋根空間から モニュメント - ラプラタの場 へと人の動きを 大屋根の隙間から 誘発する柱の設計 差し込む光を感じ ながら風景を楽しむ。 アクティビティ ANTIPODAS 10 タンポポの種 綿毛の傘 風景への成長 が交差し、淀みのり アルゼンチンの設計課題を地 敷地には訪れたことがない。先ず、私たちは綿毛の傘をイ 再び敷地の写真を見た。する 風景の種としてのモニュメン ような場を作り出す 球の裏側である日本でやると 未経験の地でコンテクストを メージした屋根を幾何学形状 と、公園の北にあるモニュメ トへのオマージュとして、私 いうことの意義を考えた。ど 読み込むことは不可能である。の連続で試みた。ここでは、ントに目が止まった。この公 たちは花の形状を幾何学で考 のようにコンテクストを読み しかし、風景のきっかけとな それぞれの屋根が複数重なる 園の風景の種は、モニュメン えた。曲線で切り欠くことで 解くかが思考の焦点となった。 る種は植えることができる。 ようなパビリオンを考えた。 トだったのである。 できる立体造形に着目した。 「静」の場 影の質 人々は柱に止まり 木のように寄り添い、 不透明度 100% 不透明度 50% 道に存在していた ビセンテ・ロペス 日陰で涼しく、人々の 半透明の素材によって フレームによって領域 アクティビティを という場を楽しむ が創られた空間。屋根 憩いの場所。人の密度 完全には日差しを遮ら 引き込み、空間に が高く、人の流れも遅 を覆う部材はなく、空 ず、拡散光が優しい光 スピード感を与える い。長く留まれる場所。 の空間を創りだす。 と連続した場所。 100% 100% 50% sky